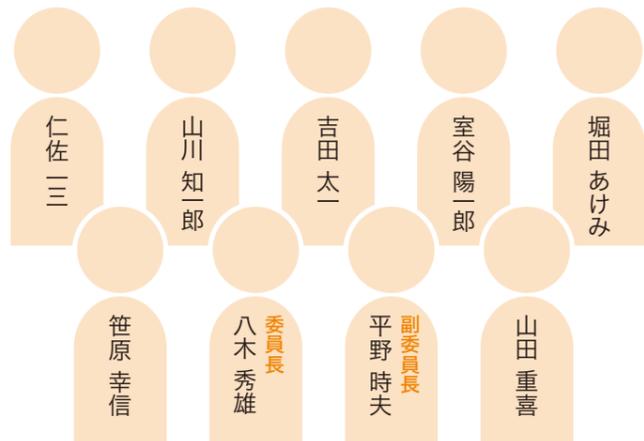


常任委員会構成

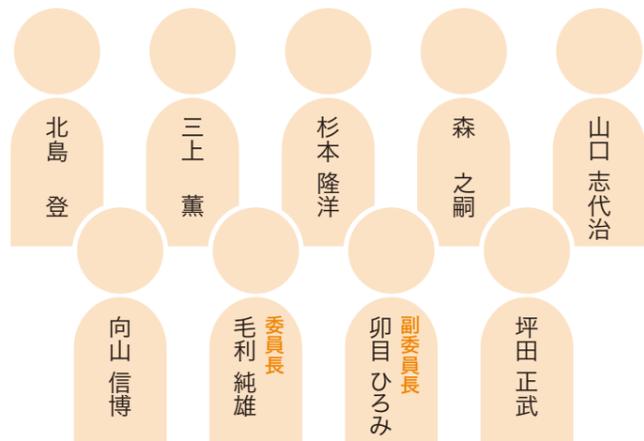
総務教育厚生常任委員会

総務部、財政部、市民生活部、健康福祉部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項の審査、調査を行います。



産業建設常任委員会

経済産業部、土木部、芦原温泉上水道財産区水道部および農業委員会の所管に関する事項の審査、調査を行います。



議会運営委員会・特別委員会構成

議会運営委員会 (6名)	委員長	菅原 幸信	副委員長	坪田 正武
	委員	毛利 純雄	山田 重喜	八木 秀雄 北島 登
広報編集特別委員会 (7名)	委員長	山田 重喜	副委員長	山川知一郎
	委員	室谷陽一郎	山口志代治	平野 時夫
		北島 登	卯目 ひろみ	

※議長はすべての委員会にオブザーバーとして出席します。

監査委員 向山 信博 あわらしの財務や事業について監査を行います。

7月臨時会 新たな議会の構成決まる

森之嗣議長、山田重喜副議長を選出

7月3日に改選後初となる第88回あわらし議会臨時会が開催され、議長、副議長の選挙が行われたほか、常任委員会など、今後の議会運営に必要な組織が決まりました。

就任のごあいさつ

市民の皆様には、平素より、市政及び市議会に対しまして、温かいご理解と力強いご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。私たちは、7月の市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。

今後とも、議会の果たすべき役割を十分認識し、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、平成30年の「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会開催まであと1年余りと迫っており、今年も、カヌー競技、バレーボール競技のプレ大会が開催されます。また、6年後の平成35年春に北陸新幹線の県内延伸という大きな契機が訪れます。JR芦原温泉駅前の整備はもろろんのこと、より一層、市を上げてまちづくりを進めていかなければならないと痛感しているところでございます。

私たち市議会は、行政から提出される議案に対して、理事者の提案をそのまま追認するのではなく、是々非々で対応し、日々研鑽を積みながら幾多の課題に正面から取り組み市民の負託に応えるべく全力を尽くしてまいります。

市民の皆様には、今後とも市議会の活動や市政について、ご理解とご協力をお願い申し上げます、就任のごあいさついたします。



議長 森之嗣



副議長 山田重喜



議長選挙の様子



宅配ボックス

理事者市のホームページに基準となるものを公開しています。救助用ジャック

委員防災資機材20万円(補助率2分の1)にはどのようなものが含まれるか。

委員補助率2分の1、上限4万円計算すると、25件分となるが、オーパーした場合、どうするか。

10万円

防災資機材等整備補助金

■総務課

平成29年度
一般会計補正予算

キヤチエーンソー、非常用の食料やコンロ、鍋等が含まれます。

■政策課

100万円
宅配ボックス設置補助金

委員補助率2分の1、上限4万円計算すると、25件分となるが、オーパーした場合、どうするか。

■教育総務課

81万5千円
地域スポーツ指導者配置事業補助金

委員地域スポーツ指導者は、今後ますます必要になると思いますが、見直しはどうか。

また、中学校の部活の指導もこの指導者がするかの。

理事者教員の多忙化を解消するためにも、指導者を増やすことが必要です。

中学校の部活については、教員が顧問となり、この指導者に技術的指導をしてもらいたいと考えています。

個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定

個人情報保護法の改正に伴う改正で、市が所有する情報の適正な管理に関するものであり、市民生活に影響が出るものではありません。

スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定

委員カヌーポロ競技場使用料やカヌー艇の保管料はどうなるのか。

理事者あわらし市やカヌー協会が主催する大会、スポーツ少年団や小学校の部活動は無料とし、クラブチームなどは有料とします。

保管料は、艇の大きさによって差がありますが、保管料収入は、年



あわらし市カヌー艇庫

総務文教常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

5月定例会 平成29年度一般会計補正予算(第1号) 4億2,229万3千円を増額

あわら北湯湖畔観月の夕べ



■平成29年度一般会計予算総額は143億6,229万3千円に
■新幹線整備に伴う市道598号線ほか2路線と東谷川の移設 3億6,434万9千円

- 花菖蒲園木道改修工事 2,000万円
- あわら北湯湖畔観月の夕べ開催補助金 1,000万円
- 7t除雪トラックの購入 3,024万円
- 議会常任委員会の名称と所管を変更

平成29年5月定例会が5月26日から6月2日までの会期で開催されました。

今定例会では、専決処分の承認に関するもの3議案、繰越計算書の報告に関するもの2議案、補正予算に関するもの3議案、条例の改正に関するもの2議案、一部事務組合理約の変更に関するもの1議案及び財産取得に関するもの1議案の計12議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、今回は5名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

その他、議員発議により条例の改正1件、意見書1件を可決しました。

感謝状(全国市議会議長会評議員)

坪田 正武 議員が評議員として、その使命達成に尽力されたので、全国市議会議長会から感謝状が贈られました。



厚生経済常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

平成29年度
一般会計補正予算

■生活環境課

**木質バイオマスによる再生可能エネルギー導入計画
策定業務委託料**
1千500万円

委員 木質バイオマス資源が坂井森林組合から供給されるが、不足するようないかなのか。
理事者 十分な量はあるとのことです。なお、本委託業務において、供給可能な資源量の調査も実施します。

向ヶ丘駐車場管制設備修繕料
80万1千円

委員 落雷が原因で生じた機器の不具合のことであったが、今後の落雷

対策はどう考えているのか。
理事者 機器にアースが付いているので、落雷防止機器等の設置は必要ないと考えています。

■福祉課

住宅改修助成費
60万円
重度身体障害者住宅改修助成費
180万円

委員 事後申請は認められないか。なお、申請してから、どれくらいの間で許可が下りるか。
理事者 申請してから、事業に着手するよう依頼しています。また、申請を受領してから、現場を確認し、見積もり額の確認が出来次第、早く2週間程度で許可を出しています。

■観光工商課

あわら北潟湖畔親月の夕べ開催補助金
1千万円

委員 シヤトルバス運行について、以前は各地区を運行していた。あくまでも市民のための親月の夕べなので、以前の状態に戻せないかと思いましたが、その検討結果はどうだったのか。
理事者 確認したところ、以前は150万円の経費が掛かっており、追加増便のための増額もしていました。今年度も地区間を運行することになれば、さらに150万円相当の増額が必要となります。

周遊・滞在型観光推進事業負担金
625万円

委員 県内において、坂井・あわらエリア以外のエリアでも本事業を実施していると思うが、他エリアとの差別化は何か。
理事者 本計画による「東尋坊周辺リゾートゾーンの創出」、「歴史文化ライの形成」及び「教育旅行ブランドの構築」、これらの3つのコンセプトによって、他エリアとの

理事者 通行止めによって住民に迷惑をかけたことは事実です。昨年度は、通行許可証も発行しましたが、配付が遅れてしまいました。今年度は、その反省を踏まえて、地元協議の際には、早めの配付を条件に了解を得ています。

差別化を図りたいと思っています。今は、まだ計画段階なので、平成35年春の北陸新幹線開業に向けて、マーケティング調査などを実施し、他エリアとの差別化を明確にし、実施していきます。



花菖蒲園

平成29年度
公共下水道事業会
計補正予算

北陸新幹線整備関連事業の補修工事
2千500万円増額

委員 施工延長250mが338.2mに変更され、距離が1.3倍程度であるのに対し、金額が2倍となっているのはなぜか。
理事者 当初予算要求時は、新幹線工事の工事手法がわかっていませんでした。鉄道運輸機構との協議を経て、特殊な工法が必要となり、大幅な増額となりました。

花菖蒲園木道改修工事
2千万円

委員 木質チップを配合した人工木を使用することであったが、製品が特定されているのか。
理事者 様々なメーカー

特別委員会 最終報告

議会活性化特別委員会

この特別委員会は、その趣旨を「市民に信頼される議会であるためには、議会の果たすべき役割を再認識し、その機能や政策提言能力を高め、市民への説明責任を果たすことが重要」としており、議会報告会の開催と議会活性化のための調査・検討を行ってきました。

まず、議会報告会について申し上げます。平成27年11月の第9回議会報告会では、全体の参加者が150名と最も少なく、中央公民館の参加者が初めてゼロとなりました。その後、事前に各地区の区長会長に参加者の確保について要請に回り、従前のような200名前後の参加者を得ております。先月の第12回議会報告会

では、少子高齢化と人口減少対策、JR芦原温泉駅周辺整備の進め方、有害鳥獣対策、空き家対策等について質問や議論がありました。

議会報告会で出された意見や質問に対する対応、名称等も含め、在り方について、今後再検討が必要と考えます。

次に、常任委員会の所管について申し上げます。現在の厚生経済常任委員会の所管事項は総務文教常任委員会に比べて、近年多くなっています。総務部、財政部、教育委員会等に市民生活部と健康福祉部を加え、総務文教常任委員会の所管とし、厚生経済常任委員会の名称を産業建設常任委員会とするのが妥当と考えま

す。

最後に、予算委員会の設置について、同一予算案を2つの常任委員会で分割審査することは、議案一体の原則により好ましくありません。

県内自治体の予算審議の状況は、5つの議会で、予算委員会が設置され、あわら市を含む4自治体では各常任委員会での分割審査となっています。選挙後の新しい議会で、全議員で構成する予算委員会を設置することが望ましいと考えます。

環境対策調査特別委員会

この特別委員会は、市民の健全な生活環境を守り、自然環境を適正に保全するため、総合的な環境対策に関し調査することを目的に設置されました。

まず、砂利採取等の現状について申し上げます。北潟地係の砂利採取跡地に残土が搬入され、必要以上に積み上がり、地元から苦情が出ていることが挙げられました。その後の調査によると、三国土木事務所、北潟地区の区長、地権者も含め、業者に対して必要以上の搬入を止めるよう要請した結果、昨年4月末をもって搬入しないとの確約をとった。それ以降はバリケードを設置し、搬入していないとのことでした。

次に、不法投棄箇所等の経過を報告します。

まず、赤尾地係の不法投棄の現場について、業者は、改善計画に基づき撤去を行っています。なお、処理計画書によると、埋まっている廃棄物については回収するようにはなっており、業者もこれ以上は投棄しないように管理しているとのことでした。

次に、市姫地係の不法投棄の現場について、責任の所在を確認したところ、建物所有者は廃業した法人であり、その実体はない。必要であれば、県が撤去することになるが、建物の躯体がしっかりしている状況では行政は手を出せないとのことでした。

最後に、北潟湖の塩分濃度について申し上げます。昨年はフナが小川に遡上しており、塩分濃度が高かったのではないかと議論されました。

理事者の見解では、昨年は降水量が少なかったことが第一の要因かと推測し、気温も高く酸素欠乏も考えられるとのことでした。また、北潟湖の塩分濃度と開田橋の関連性も明確にすべきとの意見も出されました。



議場



北潟湖

第12回 議会報告会を開催しました

4月25、26、27日の3日間、市内12会場において第12回議会報告会を開催しました。合計193名の市民の皆様にご来場いただき、3月定例会の審議状況を報告し、参加者との意見交換を行いました。多くのご意見やご要望がありましたので、皆様の声を抜粋して紹介します。なお、皆様からの意見・要望等は各委員会で理事者に強く要請しました。



議会報告会(中央公民館)

あわら市議会
議員定数の削減に関する陳情について
 ■ 陳情書が出ているが、結果はどうなったのか。また、陳情書に対し文書などで回答は出さないのか。
 ■ 今回は現在の定数でいくようだが、今後は考えてほしい。
 ■ 仕事をしていない議員に対して報酬を支払うほどの余裕はない。仕事をする議員に対してなら、胸を張って報酬を上げ、政務活動費を使ってもよいのではないかと考える。

空き家対策
 ■ 特定空き家等除去支援補助金50万円は安いように感じる。
 ■ 空き家を修繕し、利活用することに補助金を出すような議論してほしい。

地区要望
デマンド交通
 ■ まちなかと郊外では格差、温度差があるように感じる。
 ■ 足の確保として、朝7時から夜7時まで、日曜日も運行してほしい。



議会報告会(細呂木公民館)



議会報告会(波松区民館)

芦原温泉駅周辺整備事業について
 ■ 芦原温泉駅周辺整備基本計画を見ると、あわら市は前向きである。投資効果を考えて、しっかりと取り組んでほしい。
 ■ 加賀温泉駅には通常型の「かがやき」が停まることにに対し、芦原温泉駅は各駅停車の「はくたか」しか止まらない。市として何かすべきでないか。
老人憩いの家百寿苑条例の廃止について
 ■ 高齢者が集まって楽しめるような場所が必要ではないか。

鳥獣害対策について
 ■ カラス檻について、どれだけの実績があるのか。移動式檻を持ってほしい。
 ■ タヌキ、ハクビシンなどの対策はできているのか。
 ■ 固定柵の修繕費を含め、その管理費に対する補助金を出してほしい。



議会報告会(北潟公民館)



議会報告会(金津本陣IKOSSA)

その他
 ■ スクールバスの停留所が壊れかけている。何か補助金はないのか。
 ■ 竹田川河川敷の利活用を進めてほしい。
 ■ 新規就農者への支援を強化してほしい。

休校校舎の利活用
 ■ 他県は休校になって、すぐに利活用されている。あわら市は遅い。
 ■ 一刻も早く他県を参考に利活用してほしい。
 ■ 一つ休校になる度に考えるのではなく、先を見越して考えていくべきである。
 ■ 進捗が見えない。

特別委員会 最終報告

市街地活性化調査特別委員会

この特別委員会は、市街地活性化に関する調査研究を行うために設置されました。

まず、JR芦原温泉駅周辺整備について申し上げます。暫定的に連絡通路を設置してしまおうと、在来線駅舎移設の可能性が低くなるのではないかと懸念されます。しかしながら、在来線駅舎の移設の事業主体は鉄道事業者であり、現在はJR西日本、将来的には新幹線開業の2年前に設立される第三セクターとなります。JR西日本は現在の在来線駅舎を新幹線開業まで使用するとの意思が固く、新駅舎を整備するのは第三セクターとなり、まずは、新幹線開業までに自由通路の完成を優先したいと

最後に、芦原温泉駅周辺基本計画の改定について申し上げます。駅周辺の一部が土地活用検討街区と位置付けられています。その実施予定を「開業後5年を目途」としていますが、より早急に民間も活用しながら進めるべきでないかとの意見がありました。

6年後の新幹線開業までに検討・審議すべきことはまだまだ山積みであり、急ピッチで事業を進めることが求められています。



JR芦原温泉駅前

お知らせ

インターネットで議会中継を行っています!!



あわら市議会は本会議及び常任委員会の録画中継を行っています。インターネットに接続されたパソコンやスマートフォンがあれば、議会で開催した会議映像を、「いつでも」「どこでも」「何回でも」視聴できますので、機会がありましたら、ご覧ください。



閲覧方法

あわら市のホームページにアクセスしていただき、議会のトップページの「インターネット中継」をクリックしてください。なお、下記URL、QRコードからでもご覧になれます。

URL: <http://www.awara-city.stream.jfit.co.jp/>



市政について問う!

5月の定例会では、5名の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



吉田 太一 議員
●あわら市の財政状況について



八木 秀雄 議員
●波松休校校舎の利活用の方向性について



山本 篤 議員
●温泉街の活性化とこれからの観光政策について
●行政からの情報伝達の必要性和ケーブルテレビの復活について
●福井国体について



平野 時夫 議員
●学校給食の無償化について
●AED屋外設置と救命教育の導入について



山川 知一郎 議員
●新幹線延伸にむけた街づくりについて
●南中央線の延伸について



インターネット中継で一般質問をご覧になれます。



あわら市の財政状況について



吉田 太一 議員 平成28年度見込みを入れて、3年間の地方債の金額はいくらか。また、3年間の地方債残高の推移について財政部長はどう見ているのか。一般会計地方債残高の中で、普通債ではどの部分が増えているか、理由は何かと思うか。

吉田 太一 議員 現在のあわら市の財政はどのような状況か。一部では、あわら市の財政は最悪だと言われている。担当部長の口から説明願う。また、その他の部分では、臨時財政対策債が増えているが、どれくらい増えているか。税収で、市民税、法人税共



吉田 太一 議員 29年度当初予算では伸びているが、市民税の中で、どの部分が伸びて、どの部分が落ちているか。
吉田 太一 議員 最後に、北陸新幹線福井開業に向けてJR芦原温泉駅周辺整備にあわら市の財政を預かる責任者である財政部長として、いくらまでお金をつぎ込めると思われるか。

吉田 太一 議員 この普通債において、農林水産債が26年度比で約4億6千万円、73%余りの増となっている。この主な要因は国営九頭竜川下流土地改良事業負担金に対する地方債3億1千万円です。現在の財政状況について、財政健全化判断比率となる実質公債費比率、将来負担比率を見ても、財政再生基準を大きく下回っており、概ね健全な財政運営が出来ていると思っております。

吉田 太一 議員 北陸新幹線福井開業に向けたJR芦原温泉駅周辺整備にどれくらいの財源を投資出来るかとの問いには、現時点では答えられません。

休校となっている波松小学校

波松休校校舎の利活用の方向性について



八木 秀雄 議員 波松小学校の利活用方策をどの様に検討しているのか。
副市長 昨年度、プロジェクトチームを設置し、検討を進めてきました。検討に当たり地元の意向を聞いたところ、防災拠点や地域コミュニティ施設としての機能も持たせて欲しいとの意見が出されました。しかしながら、利用率の低い施設に多額の市費を投入することは適切ではないと考え、プロジェクトチームでは、外から人を呼び込む機能の付与が重要であると判断しました。

八木 秀雄 議員 ケーシオンに恵まれており、そのロケーションを活かした賢沢な時間を過ごすことのできる施設として整備し、交流人口を増やすことが最良との結論に至りました。具体的には、あわら市に寄贈された2万枚のレコードや休校となった小学校の楽器などを活用し、音楽が楽しめる、そして、地元の農作物なども購入できる施設とすることを提案しています。

八木 秀雄 議員 基本的な考え方として、校舎の解体撤去や民間への売却を行わない理由は何か。
副市長 この地区には他に公共施設がなく、防災拠点や地域におけるコミュニティ機能が必要であることから、解体撤去、民間への売却は行わないこととしました。

休校となっている波松小学校



山本 篤 議員

温泉街の活性化とこれからの観光政策について

山本 華やぎのまちづくり事業の成果は、

経済産業部長 平成28年に実施された楽天トラベルによる人気温泉地ランキングでは、男一人旅部門で全国1位、女一人旅部門では9位、家族連れ部門では4位に選ばれたなど、一定の成果をあげていると認識しています。また、現在、朝市や湯かけ祭り、灯源郷、湯けむり映画祭など、新たなソフト事業を数多く展開しています。

りを推進していきたいと考えています。

山本 温泉街の駐車場不足解消を考えているのか。

経済産業部長 湯のまち駅南口駐車場から湯のまち広場までの距離は約230メートルです。この距離が近いと感じるか遠いと感じるかは、人によって様々であり、一概に不便であるとは言えないと考えています。

湯くわくDorriの周辺に新たな駐車場を整備することは、必ずしも早急な対応が必要であるとは考えていません。

山本 これからの観光政策の方向性は、

経済産業部長 温泉街の活性化を図るためには、事業者や住民を挙げての気運の醸成を図り、観光ボランティア等の人材育成、空き店舗を活用した商業活性化などのソフト事業を中心に施策を進めていきます。

行政からの情報伝達の必要性和ケーブルテレビの復活について

山本 広報あわらやホームページの活用が少なく感じるだけに、ケーブルテレビのあわらチャンネルを復活させるべきではないか。

総務部長 市内6割程度の加入世帯でしか視聴できないことから、保守期間満了をもって番組放送を終了しました。今後も情報通信技術を活用した各種ツールにより、行政情報や魅力の効果的な発信に努めますが、行政チャンネルを再開する予定はありません。

福井国体について

山本 ボランティアの確保はできているのか。

教育部長 現在160人を超える登録がなされています。1人でも多くの市民の皆さんに携わっていただきたいと考えていますので、募集を続けていきます。

南中央線の延伸について

山本 金津高校前の県道南中央線を延伸し、トリムパークかなづ線となす計画は、JR北陸線によって東西に分断されている状況を考え、産業振興に大きく寄与するの期待されているが、まったく進んでいない。延伸すると、竹田川、JR北陸線、新幹線と交差することになり、新幹線建設工事と一体で進めなければ、不可能となるのではないか。

市長 県は、昨年9月ごろには結果が出るのことであり、早期建設を求めています。



山川 知一郎 議員

新幹線延伸にむけた街づくりについて

山本 aキューブや泉境の館、夢ぐるま公園などは利用が少なく、税金のムダ遣いと批判が強い。利用状況はどうなっているか。

副市長 28年度の利用状況は、aキューブ8千500人、広場2千500人、泉境の館6千700人、夢ぐるま公園2千500人となっており、さらなる利用者増へと努めていきたいと考えています。

山本 昨年、市が行ったアンケートでは、芦原温泉駅周辺に「買い物ができる



市民投票で選ばれた駅周辺の将来デザイン

が必要と考えています。

討論

組織的犯罪処罰法改正案(共謀罪法案またはテロ等準備罪法案)の廃案を国に求める意見書の提出を求める請願

世界各国は、国際組織犯罪防止条約に加盟して協力体制を整えているが、日本は加盟していない。本条約への加盟には、テロ等準備罪の整備が必要である。東京オリンピックなどの国際競技大会をテロの標的にしてはならず、本法案への反対は、結果的にテロを容認することにつながりかねない。



政府は先に秘密保護法を制定し、都合の悪いことを隠した。そして、集団的安全保障法(戦争法)を強行採決し、武力行使できる事態を作り出した。さらに、本法案が成立すると、思想・信条・言論の自由が侵害され、戦前の治安維持法の復活と言わざるを得ない。一連の流れより、安倍内閣は憲法9条を踏みにじり、日本が再び戦争できる国にしようとしているので、本法案を廃案とするよう強く求める。



現在、本法案は参議院で審議中である。この問題は国レベルの問題であり、地方議会の判断が必要だとは考えられない。テロの無い世界を目指すことは全ての国民の願いでもあるので、安倍政権を信頼し、国の判断に任せるべき。



平野 時夫 議員

学校給食の無償化について

平野 あわらし市における小中学校の学校給食を完全無償化した場合の予算はいくら必要か。

教育部長 現在の給食費は月額で、小学校の低学年では4千200円、高学年が4千500円、中学生は4千800円を負担いただき、給食費を完全無償化した場合の経費は、平成29年度ベースで、約1億円です。

平野 他の自治体に先駆けて学校給食の無償化を実施すべきでないか。



学校給食

今後、経済的事情により就学に支障のある家庭は、就学援助制度を活用していただきたく、給食費の無償化に向けての調査研究を行う予定はありません。

感謝の心を、各家庭や学校において育むことも大切な教育のひとつと考え、給食費の無償化については考えていません。

平野 実行可能かどうか調査研究する必要はあるのではないか。

教育部長 要保護及び準要保護の児童生徒に対しては、給食費の全額が援助され、安心して給食が食べられるよう配慮しています。

AED屋外設置と救命教育の導入について

平野 屋外用収納ボックスでAEDを設置できないか。

教育部長 屋外に移設した場合、児童生徒が普段活動する場所から離れることにもなり、一刻を争う緊急時を考慮すると、必ずしも有効な設置場所とはいえません。

子どもたちの生命を守ることを優先することとし、屋内設置を原則にしたいと考えています。

平野 児童・生徒にもAEDで救命実技指導の導入を要請する。

教育部長 市内中学校では、2年生の保健体育の時間にAEDの講習会を開催し、全生徒が受講するとともに、修了証を受け取っています。

また、昨年度までは一部の小学校でAEDの実習を取り入れており、本年度からは全ての小学校へ拡大します。

平成29年5月 第87回 あわらし市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案	議決結果	議員																	
		山田剛	山田豊	山田正武	坪田信博	北島登	山川知一郎	菅原幸信	八木秀雄	三上薫	山田重喜	杉本隆洋	森之嗣	吉田太一	毛利純雄	平野時夫	山本篤	仁佐一三	
○…賛成 X…反対 -…欠席等 ※議長(坪田 正武)は採決に加わらないので「/」で表示																			
専決処分の承認を求めることについて(あわらし道路の構造の技術的基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて(あわらし市税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて(あわらし市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度あわらし市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度あわらし市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度あわらし市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわらし個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわらしスポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市議会案																			
あわらし市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業政策に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願																			
所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について	継続審査																		
教職員の働き方の改善に関する陳情	継続審査																		
陳情																			
組織的犯罪処罰法改正案(共謀罪法案またはテロ等準備罪法案)の廃案を国に求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
フリーゲージトレイン導入困難の中、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための陳情書	継続審査																		

平成29年7月 第88回 あわらし市議会臨時会 議案の審議結果及び各議員表決

議案	議決結果	議員																		
		山田剛	山田豊	山田正武	坪田信博	北島登	山川知一郎	菅原幸信	八木秀雄	三上薫	山田重喜	杉本隆洋	森之嗣	吉田太一	毛利純雄	平野時夫	仁佐一三	山口志代治	室谷陽一郎	堀田あけみ
○…賛成 X…反対 -…欠席等 ※議長(森 之嗣)は採決に加わらないので「/」で表示																				
平成29年度あわらし市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわらし市監査委員の選任について ※向山 信博議員は、本人にかかるため退席(除斥)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

請願・陳情・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわらし市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●組織的犯罪処罰法改正案(共謀罪法案またはテロ等準備罪法案)の廃案を国に求める意見書の提出を求める請願

要旨

いまの国会において審議されている組織的犯罪処罰法改正案、すなわち共謀罪法案は有害であり、無用である。本法案が成立すれば、監視社会をつくり、民主的な活動を萎縮させることになることを理解し、国に対し、その廃案を求める意見書を提出されるよう請願する。

提出者

橋川 洋 竹内 謙二 清水 喜一郎
斎藤 忠紘 南条 光麿

結果

不採択

不採択の理由

現在、衆議院を通過し、参議院で審議中であり、内容の詳細を全て把握していない。この問題は国レベルでの問題であり、地方議会が意見することではなく、国でしっかりと協議すべきである。

●フリーゲージトレイン導入困難の中、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための陳情書

要旨

- フリーゲージトレイン導入困難の中、JR北陸本線の特急列車「サンダーバード」「しらさぎ」を存続させてほしい。
- 新幹線敦賀駅開業と同時に発生する新幹線駅ホームから在来線駅ホームへの乗り換えという事態は、県民の利便性を大きく損なうため。県民が延伸された新幹線を利用して敦賀駅で乗り換え、関西・中京方面へ行く場合と、現行の特急「サンダーバード」「しらさぎ」を利用した場合を比べると所要時間が増え、利用料金も大幅にアップするため。

提出者

北陸新幹線福井延伸と在来線を考える会 代表 松原 信也

結果

継続審査

●農業政策に関する要請書

要旨

- ①TPP協定の行方が混とんとした中で進められる二国間の自由貿易交渉では、自動車や農業に照準を合わせると思われ、農業者が安心して農業を持続できるよう、これら対処に係る万全の対策を講ずること。
- ②平成30年産から米の直接支払交付金(7千500円/10a)が廃止されることや、平成29年産から水田フル活用を支える二毛作助成の単価が目減りし農家所得が減額する。政策がめまぐるしく変わる中、農業者が安心して農業に従事できるよう地域の特性を踏まえた政策の確立と予算の確保を図ること。
- ③政府は農協改革の目的を「農業者の所得増大」として、全農改革など関連8法案を提出するが、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を目指すJAの取り組みに支援を図ること。

提出者

花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一
福井県農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

結果

意見書を提出

●あわらし市農業対策に関する要請書

要旨

- ①有害野鳥対策に関する要請書
- ②有害獣対策に関する要請書
- ③稲カメムシ等の防除に関する要請書
- ④農業用ビニール等の廃棄物処理に関する要請書
- ⑤園芸・畜産の活性化と振興に関する要請書

提出者

花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一
福井県農政連坂井支部 支部長 北島 友嗣

結果

市へ積極的に取り組むよう要望